



TITLE:

# 日本学士院における会田安明の自筆本について (数学史の研究)

AUTHOR(S):

下浦, 康邦

---

CITATION:

下浦, 康邦. 日本学士院における会田安明の自筆本について (数学史の研究). 数理解析研究所講究録 2000, 1130: 13-28

ISSUE DATE:

2000-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/63683>

RIGHT:

# 日本学士院における会田安明の自筆本について

USJC 下浦康邦 (Yasukuni Shimoura)

## I. 日本学士院における最上流和算家の自筆本の調査について

最上流に限らず、伝本の調査は自筆本の調査が基本であろう。

したがってまず日本学士院における最上流和算家の自筆本の調査を行ってみた。

このうち網をかけたものは会田安明の「算書総目録」に書名は載っているが、これまで所在がわからなかったもので、今回の調査により所在が確認されたものである。以下同じ。

[日本学士院蔵「和算図書目録」記載の会田安明の自筆本の一覧表]

岡本則録編集「日本学士院蔵 和算図書目録」(臨川書店 昭和56年刊)の中で会田安明の自筆本と記載されたものは以下のとおり。

(このうち整理番号は日本学士院が付けた番号。便利なので添付した)

(カッコ内の番号は「算書総目録」の掲載順につけた番号)

目録頁	整理番号	題 名	寄贈者名
1. P 78	0753	「円内容周円個数通術」 (自筆) 1冊	鈴木徹
(「算書総目録」には 352「円内容周円個数通術 可改 全 貫通術」とある)			
2. P 78	0754	「円内容逐斜術」 (自筆) 1冊	遠藤利貞旧蔵
(「算書総目録」には348「円内容逐斜術 全 貫通術」とある)			
3. P 88	0880	「改精算法」 (自筆) 3冊	内海菱助
(「算書総目録」には422「改精算法 全」とある)			
4. P 93	0942	「解惑非弁誤(草稿)」 (自筆) 1冊	内海菱助
5. P 121	1281	「鉤股弦通術」 (手稿) 1冊	内海菱助
(「算書総目録」には278「鉤股通弦術 丁」とある)			
(原本を見ると確かに「鉤股通弦術 丁」とあり、「和算図書目録」の記述の誤り。内題には、「鉤股変換術 鈴木彦助安旦撰」)			
鉤股通弦術			

6. P 179 1984 「整数術」 (自筆) 2冊 遠藤利貞旧蔵  
     →「整数術 依鈎股象 甲」  
     →「整数術 依通弦術 丙」  
     (「算書総目録」には275「整数術 依鈎股象 甲」  
       277「整数術 依通弦術 丙」とある)  
     (乙巻は欠だが、1985「整数術」にある)
  
7. P 181 2011 「招差術」 (自筆) 1冊 遠藤利貞旧蔵  
     (「算書総目録」の418「招差法」のことか?)  
     (原本を見ると、内題には「招差術 鈴木彦助安旦撰」とある)
  
8. P 243 2694 「変括術」 (自筆) 1冊 内海菱助  
     (「算書総目録」には440「変括術」とある)
  
9. P 260 2824 「両式演段集」 (自筆) 1冊 内海菱助  
     (「算書総目録」の151「両式演段」のことか?)  
     (原本を見ると「両式演段集 全」、内題には「両式演段帰除式約方」とある)
  
10. P 292 3140 「応響算法附録之答」 (自筆) 1冊 内海菱助  
     (「算書総目録」には382「応響算法附録之答」とある)
  
11. P 312 3389 「禁秘算答術起源(鈎股)」 (自筆) 2冊 内海菱助  
     (「算書総目録」には429「禁秘算答術起源 上」  
       430「禁秘算答術起源 下」とある)
  
12. P 313 3391 「具応好術記」 (自筆) 1冊 内海菱助  
     (山形時代の草稿)  
     (「算書総目録」には511「具応好術記 明和四丁亥年八月」とある)
  
13. P 315 3426 「括玄算法答術」 (自筆) 2冊 内海菱助  
     (「算書総目録」には380「括玄算法答術 天明二年寅二月」  
       381「括玄算法答術」とある)
  
14. P 316 3427 「括玄算法答術起源」 (自筆) 1冊 内海菱助  
     (「算書総目録」には  
       379「括玄算法答術起源 天明元年辛丑十二月」とある)
  
15. P 323 3514 「鈎股弦妙矩」 (手稿) 1冊 内海菱助  
     (山形時代の草稿)



(山形時代の草稿)

(「算書総目録」には508「無極演段集 明和二乙酉年九月」とある)

27. P 5 5 1 5 8 6 4 「最上流元祖書状」 (自筆) 1冊 内海与平治

28. P 6 9 9 6 9 0 9 「天明七、八、九年曆草」 (自筆) 3巻1冊 内海菱助

→「(23)天明七年丁未」\*

→「(24)天明八戊申」\*

→「(25)天明九己酉」\*

(曆算書)

(「算書総目録」には472「天明七年丁未」

473「天明八戊申」

474「天明九己酉」とある)

29. P 6 9 9 6 9 1 1 「天明六年曆草」 (自筆) 5巻 内海菱助

→「(17)天明六年 歳次丙午曆 日離艸」\*

→「(18)天明六年 歳次丙午曆 黄道宿次」\*

→「(19)天明六年 歳次丙午曆 月離艸 白道宿次一」\*

→「(20)天明六年 歳次丙午曆 月離艸 二」\*

→「(33)天明六年 歳次丙午 交食艸 日食月食」\*

(曆算書)

(「算書総目録」には466「天明六年 歳次丙午曆 日離艸」

467「天明六年 歳次丙午曆 黄道宿次」

469「天明六年 歳次丙午曆 月離艸 白道宿次一」

470「天明六年 歳次丙午曆 月離艸 二」

482「天明六年 歳次丙午 交食艸 日食月食」とある)

30. P 7 2 0 7 0 3 1 「曆草」(殷社氏 銅十一年) (手稿) 1冊 内海菱助

\*. P 3 0 6 3 3 1 0 「救民算法」 1冊 丹治庄之助

(奥書のみ会田安明の自筆)

\*. P 3 5 3 3 8 9 1 「算書」 1冊 内海菱助

(「算書総目録」には、

434「算書 天明元丑十一月廿六日写 本田繁八利明」とある)

(本田利明の算額写の会田安明筆)

\*. P 4 9 2 5 5 1 2 「門題三章」 1冊 —

(会田安明手記とあるが安明筆ではなかろう)

[日本学士院蔵「和算図書目録」記載の斎藤雋の自筆本の一覧表]

おなじく日本学士院蔵「和算図書目録」記載の斎藤雋の自筆本は以下のとおり。

目録頁	整理番号	題名	寄贈者名
1. P 1 6 6	1 8 4 5	「初学天元術」 (手稿)	1 冊 鈴木徹
2. P 2 3 7	2 6 4 0	「算法分果術」 (自筆)	1 冊 遠藤利貞旧蔵
3. P 3 7 2	4 1 4 5	「算法雑術」 (自筆)	1 冊 鈴木徹

[日本学士院蔵「和算図書目録」記載の高橋仲善の自筆本]

おなじく日本学士院蔵「和算図書目録」記載の高橋仲善の自筆本は以下のとおり。

目録頁	整理番号	題名	寄贈者名
1. P 4 5 9	5 2 0 2	「算法天生法」 (自筆)	1 冊 遠藤利貞旧蔵

II. 日本学士院における最上流和算家の自筆本の特徴について

[会田安明の自筆本の特性]

上記の会田安明の自筆本を詳細に研究した結果以下のことが判明した。

・会田安明の筆跡

会田安明の筆跡は楷書体のものは見分け安い。

しかしながら草書体のものは判断に悩むものがある。

・会田安明の自筆本の形式

また、上記の会田安明の自筆本の形式には大きく分けて次の5種類に分かれる。それらを仮に以下のように命名して分類した。

1. 山形時代に書き始められた初期草稿本 … (草稿本)
2. 日頃の算術の稽古や数学の思い付きなどを記したもの … (手稿本)
3. 「安明之印」「字日子貫」の二つの印が表紙裏におされ、弟子

に転写させる手本になった完成本

…（完成本）

細字本

太字本

4. 暦や普請などのおそらくはめったに他見も許さなかった秘書 …（秘書本）

5. その他 …（その他）

しかしどちらにせよ、会田安明の自筆本には楷書体のものが多く、本の形式にも統一性があり（特に3.（完成本）はほとんど皆同じ大きさ）自筆本かどうか極めて判断しやすい。

ただしここで気をつけなければならないのは、「安明之印」だけが巻頭下部におかれた写本である。これはだれか他のものが写した写本を確認の意味でおしたもので安田安明自身が内容を確認したかもしれないが、これは自筆本ではない。

あくまで「安明之印」「字日子貫」の印を表紙裏におしたものが自筆本の通常例である。

#### [斎藤雋の自筆本の特性]

- ・ 斎藤雋の筆跡

一定しており判別しやすい。

- ・ 本の形式

ほぼ一定している。

装丁に使用されている紙質がすべておなじ。

#### [高橋仲善の自筆本の特性]

- ・ 高橋仲善の筆跡

判別しやすい。

- ・ 本の形式

ほぼ一定している。

装丁に使用されている紙質がすべておなじ。

### Ⅲ. 内海家より日本学士院に寄贈された伝本の検討について

上記の判断基準でもって最初に上記以外の内海家（内海菱助）からの寄贈本を調査してみた。これは内海家の書物が最上流の伝書のうちで、最良のものであると予想されたからである。その結果は以下のとおり。

・具体的な記載はないが会田安明の自筆本と判断されるもの

目録頁	整理番号	題 名	作 者 名 ( [ ] 内は推定)
1. P 14	158	「緯老余算草術（巻一）」	(写本) 1冊 仰松軒君撰 松永良弼編 山路主任泰教校 (「算書総目録」には126「緯老余算草術 松永良弼編」とある)
2. P 16	183	「緯老余算統術惣括」	(写本) 1冊 仰松軒君撰 松永良弼編 山路主任泰教校 (「算書総目録」の367「緯老余算統術 松永良弼」のことか?)
3. P 69	664	「一題十六品術」	(写本) 1冊 [藤田貞資編] *. (「算書総目録」には124「一題十六品術 全 藤田」とある)
4. P 88	881	「改精算法」 校合本	(刊本) 1冊 会田安明
5. P 89	884	「改精算法抜書」	(写本) 1冊 [会田安明] (「算書総目録」には378「改精算法抜書」とある)
6. P 89	885	「改精算法改正論」	(写本) 2冊 鈴木安明著
7. P 93	938	「解惑算法」 校合本	(刊本) 1冊 会田安明
8. P 93	941	「解惑非弁誤（草稿）」	(写本) 1冊 会田安明著
9. P 93	943	「解惑非弁誤（草稿）」	(写本) 1冊 [会田安明]
10. P 93	944	「解惑弁誤」	(刊本) 1冊 神谷幸吉著 (「算書総目録」には111「解惑弁誤 全」とある。会田安明筆にあらず)



11. P 98 1009 「加減反復法」 (写本) 1冊 会田安明著
12. P 99 1016 「甲乙累差以甲乙差除形」 (写本) 1冊 [藤田(讀?)] \*  
(「算書総目録」には123「甲乙累差以甲乙差除形 藤田」とある)
13. P 112 1169 「矩秘算題」 (写本) 1冊 [会田安明] \*  
(「算書総目録」には433「矩秘算題」とある)
14. P 134 1440 「混沌招差法起源」 (写本) 1冊 会田安明編  
(「算書総目録」の181「混沌招差法 四」の一部か?)
15. P 148 1610 「算法郭如」 (写本) 1冊 会田安明編  
(本田利明手沢本。会田安明筆にあらず?)
16. P 148 1611 「算法郭如」 校合本(刊本) 1冊 会田安明著
17. P 148 1612 「算法廓如」 (写本) 1冊  
鈴木助右衛門忠義 [会田安明] 著
18. P 149 1624 「算法古今関」 (写本) 3冊 会田安明関  
鈴木忠義著  
(「算書総目録」には408「算法古今関 上」  
409「算法古今関 中」  
410「算法古今関 下」とある)
19. P 153 1673 「算法定矩像」 (写本) 1冊 会田安明識  
(「算書総目録」には423「算法定矩像 一」とある)
20. P 208 2329 「図象志」 (写本) 1冊 山路主住編  
(「算書総目録」の125「図象志 全 藤田」のことか?)
21. P 229 2561 「方程招差法(卷二)」 (写本) 1冊 会田安明編  
(「算書総目録」の418「招差法」or  
419「諸招差法 全」のことか?)
22. P 241 2672 「幕式演段集(卷坤)」 (写本) 1冊 [会田安明]  
(「算書総目録」の148「幕式演段 坤」のことか?)  
(原本を見ると表題には「幕式演段 坤」、  
内題には「幕式演段立方式約方」とある)
23. P 271 2915 「愛石山標額」 (写本) 1冊 [本田利明]

(本田利明の算額写の安明筆。3891と関連有り)

24. P 290 3119 「算法円類一百題」 (写本) 1冊 鈴木安旦撰  
 (「算書総目録」の449「算法円一百題」のことか?)  
 (原本を見ると「算法円類一百題」とある。  
 内題には「円類題 鈴木彦助安旦撰」)
25. P 312 3388 「禁秘算答術(全二巻)」 (写本) 1冊 [会田安明] \*  
 (「算書総目録」には431「禁秘算答術 上下」とある)
26. P 319 3468 「掛額算題写」 (写本) 5冊 会田安旦集  
 (「算書総目録」には265「浅草芝標題写 一 二十一条」  
                   266「芝愛吾標題写 二 二十 条」  
                   267「芝其外標題写 三 三十五条」  
                   268「芝其外標題写 四 三十 条」  
                   269「芝其外標題写 五 二十二条」とある)  
 (原本を見ると①標題に「天明元年丑歳十一月写之。  
                   算書  
                   浅草観音堂掛額写  
                   芝愛吾山額之写  
                   二十一条 鈴木安旦」とある。 →265か?  
                   ②標題に「掛神廟仏閣算額之写 三十五条三  
                   (ただし後世の書題簽)」とある。 →267か?  
                   ③標題に「掛神社仏閣算額写 三十条 四」とある→268か?  
                   ④標題に「丙 掛芝愛吾山門額 問 安旦答術」とある。  
                   ⑤標題に「丁 掛芝愛吾山門額 問 予答術」とある)
27. P 324 3519 「鉤股算題輯(全二巻)」 (写本) 2冊 会田安旦編  
 (「算書総目録」には330「鉤股算題輯 甲」  
                   331「鉤股算題輯 乙」とある)
28. P 340 3724 「雑題解術前二十九問」 (写本) 1冊 [藤田貞資編] \*  
 (「算書総目録」には121「雑題解術 前二十五問 藤田貞資編」とある)  
 (原本を見るに「雑題解術 前二十五問」とあり、「和算総目録」の記述の誤り)
29. P 342 3749 「雑題前二十五問」 (写本) 1冊 [藤田貞資編] \*  
 (「算書総目録」には120「雑題 前二十五問 藤田貞資編」とある)

30. P 3 5 0 3 8 5 2 「算題下書」 (写本) 1 冊 [会田安明?]
31. P 3 5 4 3 9 0 3 「算題」 (写本) 1 冊 [会田安明?]
32. P 3 5 4 3 9 1 0 「算題一日八章起源」 (写本) 1 冊 会田安明述  
(「算書総目録」には230「算題一日八章起源」とある)
33. P 3 6 9 4 0 9 5 「算法経仁礼之巻」 (写本) 3 冊 [会田安明]  
→「算法仁之巻」 1 冊 [会田安明] \*  
→「算法経之巻」 1 冊 [会田安明] \*  
→「算法礼之巻」 1 冊 [会田安明] \*  
(「算書総目録」には133「算法仁之巻」  
134「算法経之巻」  
135「算法礼之巻」とある)
34. P 3 7 5 4 1 7 3 「算法下書」 (写本) 1 冊 [会田安明?]
35. P 4 0 2 4 5 2 0 「神壁算法(巻上)」 (刊本) 1 冊 [藤田貞資 関  
藤田嘉言編]  
(「算書総目録」には108「神壁算法 二冊」とある。  
会田安明筆にあらず)
36. P 4 3 2 4 8 9 4 「続神壁算法」 (刊本) 1 冊 藤田貞資 関  
藤田嘉言編  
(「算書総目録」には109「増刻 神壁算法 全」とある。  
会田安明筆にあらず)
37. P 4 4 4 5 0 3 0 「長平内容三円徑棲術解」 (写本) 1 冊 関廉之撰
38. P 4 6 0 5 2 1 3 「算法天生法指南試数録(上)」 (写本) 2 冊 [会田安明?]
39. P 4 7 5 5 3 5 2 「半梯整数」 (写本) 1 冊 [会田安明]  
(「算書総目録」には362「半梯整数 全」とある)
40. P 4 8 0 5 3 9 5 「分合招差法起源」 (写本) 1 冊 会田安明編  
(「算書総目録」の184「分合招差法 七」の一部か?)
41. P 4 8 6 5 4 7 1 「歩積相応之題七十五条」 (写本) 1 冊 [会田安明] \*  
(「算書総目録」には150「歩積相応之題 七十五条」とある)

42. P 4 9 2 5 5 1 1 「門子算法集」 (写本) 1 冊 [会田安明] \*  
 (「算書総目録」には 3 8 4 「門子算法集」とある。会田安明筆にあらず?)
43. P 4 9 4 5 5 2 7 「山崎七兵衛質疑書」 (写本) 1 冊 [会田安明]
44. P 4 9 5 5 5 3 1 「湯島天神社額問(十条)」 (写本) 1 冊 裕結鈴門人撰  
 (「算書総目録」には 2 7 1 「湯島十条題 神谷氏」とある)
45. P 5 1 9 5 7 0 9 「算法関愚弁」 (写本) 1 冊 会田安明著  
 (「算書総目録」には 4 0 7 「算法関愚弁 会田算集七刻」とある)
46. P 5 3 9 5 7 9 3 「会田算左衛門所有地関係書」 (写本) 1 冊 -  
 (会田安明筆にあらず?)
47. P 6 4 3 6 4 4 6 「比呂宇土(巻上)」 (写本) 1 冊 (金沢明作にあらず)  
 (「算書総目録」には 5 5 1 「比呂宇土 一冊」とある)  
 (所謂「船乗びらうと」の会田安明筆本)
48. P 6 5 7 6 5 1 2 「安永四年授時補暦」 (写本) 4 冊 会田安明草  
     → 「(8) 安永四年歳次乙未暦 交食紳」 [会田安明] \*  
     → 「(9) 安永四年歳次乙未暦 日躔紳」 [会田安明] \*  
     → 「(10) 安永四年歳次乙未暦 黄道宿次」 [会田安明] \*  
     → 「(13) 安永四年歳次乙未暦 月離紳二」 [会田安明] \*  
 (暦算書)  
 (「算書総目録」には 4 5 7 「安永四年歳次乙未暦 交食紳 十冊之内 二」  
     4 5 8 「安永四年歳次乙未暦 日躔紳 三」  
     4 5 9 「安永四年歳次乙未暦 黄道宿次 四」  
     4 6 2 「安永四年歳次乙未暦 月離紳二 七」とある)
49. P 6 5 7 6 5 1 3 「(7) 安永六丁酉曆書」 (写本) 1 冊 [会田安明] \*  
 (暦算書)  
 (「算書総目録」には 4 9 9 「安永六丁酉曆」とある)
50. P 6 5 8 6 5 2 5 「(3) 陰陽曆術」 (写本) 1 冊 会田安明述  
 (暦算書)  
 (「算書総目録」には 4 5 2 「陰陽曆術」とある)
51. P 6 5 9 6 5 3 3 「寛政4年壬子運氣考」 (写本) 1 冊 武田九龍子撰

52. P 6 6 5 6 5 7 8 「(5) 仮名暦術解」 (写本) 1冊 [会田安明] \*  
 (暦算書)  
 (「算書総目録」には454「仮名暦術解」とある)
53. P 6 6 6 6 5 8 0 「(二) 求月食」 (写本) 1冊 [会田安明] \*  
 (暦算書)  
 (「算書総目録」には493「求月食」とある)
54. P 6 6 9 6 6 1 3 「寛政七、八年暦気策草」 (写本) 2巻合1冊  
 → 「(35) 寛政七年乙卯歳次暦気策草」 [会田安明] \*  
 → 「(36) 寛政八年丙辰歳次暦気策草」 [会田安明] \*  
 (暦算書)  
 (「算書総目録」には484「寛政七年乙卯歳次暦気策草」  
 485「寛政八年丙辰歳次暦気策草」とある)
55. P 6 9 6 6 8 6 2 「(1) 貞亨暦立成」 (写本) 1冊 [会田安明]  
 (暦算書)  
 (「算書総目録」には450「貞亨暦立成」とある)
56. P 7 1 2 6 9 9 3 「寛政八年暦細草 本天密合 (写本) 1冊 [本田北夷生  
 (暦象考成後編法) 推算]  
 (本田利明作の会田安明筆本)
57. P 7 2 5 7 0 7 8 「(四) 暦定法」 (写本) 1冊 [会田安明] \*  
 (暦算書)  
 (「算書総目録」には491「暦定法」とある)  
 (内題「暦定率」。6580と同形式の本)
58. P 7 8 6 7 3 9 7 「異称日本伝 (抜書)」 (写本) 1冊 [松下見林]  
 (「算書総目録」には531「異称日本伝 抜書 全」とある)  
 (原著は、3巻15冊、松下見林 (西峰)、元禄元年自序 6年刊)
59. P 7 8 6 7 3 9 9 「医王者婆伝」 (写本) 1冊 浪華鹿野人訳  
 (「算書総目録」には533「医王者婆伝 全」とある)  
 ( (会田先生遺本) 原著は、「通俗医王者婆伝」、5巻5冊、鹿鳴野人 (都賀庭鐘)  
 訳、宝暦13年刊、会田安明筆にあらず)
60. P 7 8 8 7 4 0 3 「蝦夷国之巻」 (写本) 1冊 (会田安明筆にあらず)

61. P 7 8 8 7 4 0 4 「蝦夷草紙（全三巻并附録）」（写本）4冊 最上徳内親著  
（（会田先生遺本）原著は、5巻5冊、最上徳内著、寛政2年）
62. P 7 8 8 7 4 0 5 「蝦夷拾遺（二巻）」（写本）2冊 青島政教著  
（（会田先生遺本）原著は、4巻別巻1巻、青島俊蔵、庵原宣方、佐藤行信、皆川秀道、山口高品著、天明6年（1786年）序）
63. P 7 8 8 7 4 0 6 「蝦夷唐太島之記」（写本）1冊 （会田明作にあらず）  
（（会田先生遺本）原著は、寛政3年）
64. P 7 8 8 7 4 0 7 「蝦夷漫録」（写本）8冊 [会田安明]  
（会田先生遺本）
65. P 7 9 0 7 4 1 5 「阿蘭陀船之風説書」（写本）1冊 （会田明作にあらず）  
（「算書総目録」には524「阿蘭陀風説書 全」とある）
66. P 7 9 2 7 4 2 8 「津軽船頭儀兵衛漂流記」（写本）1冊 （会田明作にあらず）  
（「算書総目録」には532「津軽船頭儀兵衛漂流記 全」とある）
67. P 7 9 3 7 4 3 4 「管見博物論」（写本）1冊 会田安明著  
（「算書総目録」には521「管見博物論 全」とある）  
（会田先生遺本。文化3年）
68. P 7 9 3 7 4 3 8 「群書類従外雑記」（写本）1冊 （会田明作にあらず）  
（「算書総目録」には537「群書類従並雑記 全」とある）
69. P 7 9 4 7 4 3 9 「慶長軍記巻十八、九（写本）1冊 [植木悦他]  
大阪夏御陣覚書拔書」  
（（会田先生遺本）原著は、「慶長軍記」、内閣文庫本は18巻、植木悦（東林耕人）、寛文8年。「大阪夏御陣覚書」、2巻2冊、）
70. P 7 9 5 7 4 4 4 「国歌八論」（写本）1冊 荷田在満述  
（「算書総目録」には613「国歌八論 全 荷田在満編」とある）  
（（会田先生遺本）原著は、1冊、荷田在満著、本居宣長評、寛保2年）
71. P 7 9 5 7 4 4 7 「骨董録（拔書）」（写本）1冊 （会田明作にあらず）  
（「算書総目録」には541「骨董録 或謂五事略 全」とある）  
（会田先生遺本）

72. P 7 9 5 7 4 4 8 「昆陽漫録」 (写本) 1冊 青木敦書著  
 (「算書総目録」には610「昆陽漫録 一冊 青木敦書作」とある)  
 ((会田先生遺本) 原著は、6巻・続1巻・補1巻8冊、青木昆陽(敦書)著、  
 宝暦13年・続明和3年・補5年)
73. P 7 9 7 7 4 5 7 「紫奥略談其他」 (写本) 1冊 (細刻本あり)  
 (「算書総目録」には523「紫奥略談松前収納 全」とある)  
 (会田先生遺本)
74. P 7 9 7 7 4 5 8 「四季草」 (写本) 1冊 伊勢貞丈述  
 ((会田先生遺本) 原著は、7冊、伊勢貞丈著、安永7年)
75. P 7 9 7 7 4 5 9 「集義和書共外書(抜書)」 (写本) 2冊 熊沢蕃山述編  
 (「算書総目録」には543「集義和書 全」  
 544「集義外書 全」とある)  
 (会田先生遺本)
76. P 7 9 7 7 4 6 1 「将棋指南」 (写本) 1冊 [会田安明]  
 (「将棋駒組啓蒙」と同じ?)
77. P 7 9 7 7 4 6 2 「上書」 (写本) 1冊 平山幸蔵記  
 (会田先生遺本)
78. P 7 9 7 7 4 6 3 「上書」 (写本) 1冊 蒲生君平記  
 (会田先生遺本)
79. P 7 9 7 7 4 6 4 「上書」 (写本) 1冊 植崎九八郎記  
 (会田先生遺本)  
 (「算書総目録」には554「上書 一冊」とある)
80. P 7 9 8 7 4 6 9 「神国神字弁」 (写本) 1冊 [諦忍・金竜原著  
 会田安明評]  
 ((会田先生遺本) 原著は、「神国神字弁論」、1冊、諦忍・金竜著、安政7年  
 成立、安政9年刊。いわゆる「神国神字弁評林」と同じ)
81. P 7 9 8 7 4 7 0 「慎始篇」 (刊本) 1冊 渡辺政之助述  
 (「算書総目録」には559「慎始篇 全」とある) (安明筆にあらず)
82. P 7 9 9 7 4 7 3 「制度通(巻十一)」 (写本) 1冊 伊藤長胤輯  
 (「算書総目録」には539「制度通 巻之十一 全」とある)  
 ((会田先生遺本) 原著は、13巻13冊、伊藤東涯(長胤)著、享保9自序)

83. P 7 9 9 7 4 7 8 「関原軍記大成（巻五）」（写本）1冊 [宮川忍斎]  
（原著は、「関ヶ原軍記大成」、宮川忍斎（宮腰秀興）、元禄3年序）
84. P 8 0 1 7 4 8 1 「太閤年代略説（甲乙二集）」（写本）2冊（会田明作にあらず）  
（会田先生遺本。原著は、2巻2冊）
85. P 8 0 1 7 4 8 2 「唐太宗軍艦宗史軍談（抜書）」（写本）1冊（会田明作にあらず）  
（「算書総目録」には553「唐太宗軍艦 宗史 軍談 一冊」とある）  
（会田先生遺本）
86. P 8 0 2 7 4 9 1 「珍説要秘録（全十巻）」（写本）1冊 [会田安明]  
（「算書総目録」には535「珍説要秘録 二冊」とある）  
（（会田先生遺本）原著は、10巻）
87. P 8 0 3 7 4 9 2 「通俗戦国策（摺）」（写本）1冊 [毛利貞斎]  
（「算書総目録」には536「通俗戦国策 抜書 全」とある）  
（（会田先生遺本）原著は、18巻18冊、毛利貞斎（琥珀）著、宝永元年刊）
88. P 8 0 4 7 4 9 3 「朝鮮並琉球之巻」（写本）1冊（会田明作にあらず）  
（会田先生遺本）
89. P 8 0 4 7 4 9 6 「天竺物語」（写本）1冊（会田明作にあらず）  
（「算書総目録」には599「天竺物語 全」とある）  
（会田先生遺本）
90. P 8 0 5 7 4 9 9 「東国戦記」（写本）1冊（会田明作にあらず）  
（会田先生遺本）
91. P 8 0 5 7 5 0 0 「東国太平記（抜書）」（写本）1冊 [杉原親清]  
（「算書総目録」には548「東国太平記 全」とある）  
（（会田先生遺本）原著は、16巻18冊、杉原親清著、延宝8年序）
92. P 8 0 7 7 5 0 2 「日本国史略（全十五巻）」（写本）15冊 会田安明述  
（「算書総目録」には520「日本国史略 一十五冊」とある）  
（会田先生遺本）
93. P 8 0 7 7 5 0 3 「日本国史略目録（全三巻）」（写本）3冊 会田安明編  
（「算書総目録」には519「日本国史略目録 三冊」とある）



(会田先生遺本)

94. P 8 0 8 7 5 0 5 「年代記聞並黄門公教令」 (写本) 1 冊 安藤為章述  
(「算書総目録」には540「年代記聞 全」とある)  
(会田先生遺本)
95. P 8 0 9 7 5 0 6 「野斧」 (写本) 1 冊 細井徳民述  
(「算書総目録」には538「野斧 全」とある)  
(会田先生遺本) 原著は、3巻1冊、細井徳民(平州)著
96. P 8 1 1 7 5 1 2 「漂流船物語」 (写本) 1 冊 (会田先生遺本にあり)
97. P 8 1 2 7 5 1 5 「武徳編年集成(抜書)」 (写本) 1 冊 [木村高敦]  
(「算書総目録」には552「武徳編年集成 一冊」とある)  
(会田先生遺本) 原著は、93巻、木村高敦著、元文5年序
98. P 8 1 2 7 5 1 6 「武野燭談(抜書)」 (写本) 1 冊 (会田先生遺本にあり)  
(会田先生遺本) 原著は、30巻
99. P 8 1 3 7 5 1 8 「弁道書評林(全二巻)」 (写本) 2 冊 [大宰春台原著  
会田安明評]  
(会田先生遺本) 原著は、「弁道書」、1冊、大宰純(春台)、享保10年刊
100. P 8 1 5 7 5 2 0 「将門実録日記」 (写本) 1 冊 [鶴飼信興著]  
(会田先生遺本) 原著は、1冊、鶴飼信興著、元禄自序
101. P 8 2 0 7 5 2 8 「魯齊亜記事」 (写本) 6 冊 会田安明述  
(会田先生遺本)
102. P 8 2 0 7 5 2 9 「魯西亜漂流記」 (写本) 1 冊 (会田先生遺本にあり)  
(会田先生遺本)
103. P 8 2 1 7 5 3 1 「和漢珍書考評林」 (写本) 1 冊 小石川信興撰  
会田安明評  
(会田先生遺本) 原著は、1冊、鶴飼信興著、元禄自序

・記載はないが斎藤雋の自筆本と判断されるもの

P 4 1 4 4 6 6 3 「精要算法(上巻)起源」 (写本) 1 冊 [斎藤雋]